

第54回洗淨に関するシンポジウム

主催 日本油化学会 洗淨・洗剤部会
協賛 日本家政学会、繊維学会、日本繊維製品消費科学会、色材協会

日時 令和4年10月11日(火)午後～14日(金)
会場 オンライン開催 (LINC Biz (AIoTクラウド社リモート会議システム))

プログラム概要

特集「これからの地球環境とリサイクルを考える」、一般講演、オープンセミナー及びオリジナルレポート

参加費 (消費税を含む)

	事前振込	当日
洗淨・洗剤部会員	9,000円	WEB開催のため受け付けません
本会 ^{*1} 正会員	10,000円	
本会 ^{*1} 法人会員	12,000円	
協賛学会員	12,000円	
Co-メンバー ^{*2}	12,000円	
会員外	15,000円	
学生	5,000円	

^{*1} 日本油化学会 ^{*2} Co-メンバー登録費用(1,000円)を含む

「Co-メンバー」のご案内

洗淨・洗剤部会では学会活動活性化の一環として「Co-メンバー」制を導入しています。

日本油化学会会員以外の方を対象として、当部会関連情報の配信や、本シンポジウム及び当部会開催セミナー参加費の割引が適用されます。

Co-メンバー資格は次回シンポジウムまで(約1年間; 年会費1,000円)です。是非、ご入会ください。

なお、日本油化学会会員の方は、この機会に是非、「洗淨・洗剤部会」にご入会下さい(無料)。

懇親会 なし

申込〆切 令和4年10月5日(水)

振込〆切 令和4年10月5日(水) (開催日当日の受付は行いませんので、ご注意ください。)

申込方法 下記ホームページの申し込みフォームへアクセスいただき、お申し込み手続きをお願い致します。

★★★[ホームページアドレス \(https://jocs.jp/oil-multi/cleaningdetergent/\)](https://jocs.jp/oil-multi/cleaningdetergent/)★★★

*上記申し込みフォームでの申し込みが難しい場合には、下記問合せ先までご連絡ください。

振込方法 参加費は申し込み締切日まで【入金の確認が行えるよう】に銀行振込にて前納して下さい。
(開催日当日の受付はおこないませんので、ご注意ください。)

当方にて振込が確認できなかった場合、振込用紙を提示していただく場合がございます。
なお納入された参加費は返金いたしかねますので、予めご了承下さい。

銀行振込： **三井住友銀行 日本橋東支店 普通預金口座 7697594**
口座名義 **日本油化学会 洗淨洗剤部会** (ニホユカケイ センゾウケンガクイブカイ)
*カタカナでの振込先入力が必要な際にはご注意ください。

問合せ先 日本油化学会 洗淨・洗剤部会 事務局
ライオン(株) ファブリックケア研究所 天谷 友彦 (あまたに ともひこ)
〒132-0035 東京都江戸川区平井7-2-1 E-mail: senjou-senzai@jocs.jp
TEL 03-3616-3390 FAX 03-3616-3542

【プログラム】

■10月11日（火）

12:50～13:20 開会の辞／最近の洗浄研究・洗剤技術の動向

洗浄・洗剤部会長（横浜国立大）大矢 勝 氏

<特集 これからの地球環境とリサイクルを考える>

13:20～14:20 気候変動と持続可能な社会実現に向けた行動とは

（地球環境戦略研究機関）小野田 真二 氏

気候変動の影響を最小限にとどめ、包摂的な持続可能な社会を実現するための企業行動のあり方について、科学的知見や国際動向を踏まえつつ、現状と課題、将来展望を含めて論じる。

14:20～15:20 ファッションを持続可能に

（環境省）岡野 隆宏 氏

大量生産・大量消費・大量廃棄により環境や社会への影響が大きいとされるファッション産業の環境への影響をデータで示すとともに、持続可能な産業にシフトしていくための業界と生活者の双方のアクションを考える。

—休憩 15:20～15:30（10分）—

15:30～16:30 プラスチックゴミ問題とプラスチックの生分解性評価

（化学物質評価研究機構）菊地 貴子 氏

マイクロプラスチックや海洋プラスチックごみ問題の概要とともに、その解決策の一つとされている生分解性プラスチックに関して、国内外動向や生分解性評価法について紹介する。

16:30～17:30 花王の考えるプラスチック資源循環の現状と将来展望

（花王）松本 州平 氏

花王のESG戦略と、これまでに実施してきた4R活動による環境対応への取り組みを紹介する。中でもReduceの中心となるフィルムタイプの包装容器開発、および、今後の新たなチャレンジによる環境戦略について述べる。

■10月12日（水）

<一般講演>

10:00～11:00 衣類の消費と廃棄・循環の実態と課題

（京都工繊大）木村 照夫 氏

世界2位の環境汚染産業と言われている繊維業界、我が国における年間100万トンにも及ぶ衣類廃棄物の実態と持続可能社会構築のために今何が必要か、各企業はどのような取り組みを行っているかについて概説する。

11:00～12:00 半導体光触媒を用いる環境浄化および人工光合成

（京都大院）阿部 竜 氏

半導体光触媒は、有害物質を分解する環境浄化、水の分解による水素製造などの人工光合成、の2つの技術への応用が検討されている。本講演では、光触媒反応の基本、材料開発指針、最新研究動向などを解説する。

—昼食休憩 12:00～13:10（1時間10分）—

<オープンセミナー>

13:10～14:10 ソフト界面膜の不均一性と形態変化

(九州大) 瀧上 隆智 氏

油/水界面に形成された吸着単分子膜や多成分脂質混合物からなる二分子膜（ベシクル）系での膜内不均一性とドメインおよびベシクルの形態変化について、分子混和性、線張力、曲げ弾性等の観点から紹介する。

14:20～15:20 生活者行動解析に基づくウイルス接触・拡散リスクの可視化と衛生行動の効果

(ライオン) 瀧沢 岳 氏

感染症の不安を払拭する衛生習慣を提案するため、日常の接触行動実態から家庭におけるウイルス拡散・接触リスクをシミュレートした。今回、手洗いや手指消毒のリスク軽減効果と共に、ウイルス制御研究の一部を紹介する。

15:30～16:30 マイクロバブルの基本的性質と洗浄効果

(鹿児島工業高専) 氷室 昭三 氏

マイクロバブルの水中での挙動、水の基本的性質などの物理化学的性質について述べる。また、マイクロバブルの洗浄効果について検討し、臨界ミセル濃度以下で興味深い作用を示したので報告する。

16:30～16:35 閉会の辞（講演およびオリジナルレポートの配信について）

洗浄・洗剤部会 副部長（共立女子大）後藤 純子 氏

■10月11日（火）～10月14日（金）

<オリジナルレポート>

閲覧可能期間：10月11日（火）12:00～10月14日（金）17:00

コアタイム：①10月13日（木）10:00～11:00（発表奇数番号）、14:00～15:00（発表偶数番号）

②10月14日（金）10:00～11:00（発表奇数番号）、14:00～15:00（発表偶数番号）

（コアタイムの間は発表者がビデオ会議で質疑応答に対応予定）

1. 布上での BCA 呈色反応に及ぼす脂肪酸汚れの影響

（実践女子大*1、東京学芸大*2、文化学園大*3）○塚崎舞*1、森田みゆき*2、米山雄二*3

2. HPLC を利用した洗浄試験システムによる油性汚れの除去挙動の解析

（横浜国立大院）○吹春輝、大矢勝

3. 洗濯機の機械力を再現するモデル小型試験

（千葉労災病院*1、横浜国立大*2）○長谷川美安子*1、大矢勝*2

4. 洗濯用液体洗剤の一般的特性とモデル洗剤組成の提案

（共立女子大*1、和洋女子大*2、横浜国立大*3、千葉労災病院*4）○後藤純子*1、桑原里実*2、
呉童*3、萩原悠奈*3、長谷川美安子*4、大矢勝*3

5. 高起泡性溶液の起泡特性の評価方法の開発

（横浜国立大院）○河村有香、大矢勝

6. 洗濯機を用いた再汚染評価法の提案

(和洋女子大^{*1}、共立女子大^{*2}、横浜国立大^{*3}) ○桑原里実^{*1}、添野涼花^{*1}、瀧澤菜月^{*1}、
後藤純子^{*2}、大矢勝^{*3}

7. 溶液統計熱力学を用いた疎水性染料の可溶性メカニズムの検討

(産総研^{*1}、University of York^{*2}) ○金崎悠^{*1}、Seishi Shimizu^{*2}

8. アミドアミノオキシド型界面活性剤水溶液のレオロジー挙動

(大阪技術研^{*1}、関西大^{*2}) ○懸橋理枝^{*1}、東海直治^{*1}、中川充^{*1}、中野寛之^{*2}、川崎英也^{*2}

9. ファインバブル水によるすすぎ効果への気泡径の影響

(大阪産業大^{*1}、奈良工業高専^{*2}) ○田川由美子^{*1}、後藤景子^{*2}

10. 業務用食器洗浄機を用いた中性におけるタンパク質高速洗浄技術の開発

(花王) ○川村卓司、穂積賢司、菅野郁夫

11. 手洗い後の抗菌持続性能に関する研究

(ライオン) ○宮地新、立川将史、井上亮、金田澄、内藤厚志

12. 洗浄製品向け新抗菌剤の効果について

(クラリアントジャパン) ○工藤駿、堀内武士、榎本浩二

13. 家電品の分解洗浄の効果

(HITOWA ライフパートナー^{*1}、横浜国立大^{*2}) ○村上佳奈子^{*1}、服部祐樹^{*1}、尾崎真^{*1}、大矢勝^{*2}

14. WhelChem 社 PERACTIVE シリーズ：漂白活性化剤「TAED」について

(アゼリスジャパン) ○竹内秀夫、岡田訓幸、流石健作

以上